

LANCER GSR

Evolution III

Overall length:4310mm. Overall width:1695mm. Overall height:1420mm. Wheel base:2510mm.

Front tread:1465mm. Rear tread:1470mm. Engine:2000 DOHC 16VALVE INTERCOOLER TURBO.

Max. Power:270PS/6250rpm(NET). Max. Torque:31.5kg·m/3000rpm. Power weight ratio:4.67kg/PS(GSR). 4.41kg/PS(RS).



 三菱自動車

進化は、止まらないう。



WRC(世界ラリー選手権)で鍛えたエボリューションに、
さらにパワーアップしたⅢ、完成。

ランサーが、再びWRCにエントリーして、3年。
「走る・曲がる・止まる」というクルマ本来の走りの機能を、妥協を許さないステージで極限まで鍛えあげていった。
そしていま、その数多くの挑戦から獲得したさまざまなノウハウをフィードバックし、
三菱の新たな情熱を傾けた一台が誕生した。
ランサーGSRエボリューションⅢ。
最高出力270PSを達成した卓越のパワー。そして、風の流れを巧みに利用する革新の空力ボディ。
スポーツセダンとして純粋な進化を遂げ、さらに最強の走りへと到達した。
その走りの向こうには、輝かしい栄光が待っている。





■PHOTO: GSR Evolution III ■MAKER OPTION: 電動チルト&スライド式サンルーフ ■BODY COLOR: ダンデライオンイエロ

コンマ1秒を縮めるための
ひたむきな努力とたえない情熱。そこから、
ランサーの総合性能が高まっていく。



三菱自動車工業(株) 海外本部海外企画部長付
WRC三菱ワークスチーム ドライバー 篠塚建次郎

コンマ1秒でも速く走るには、パワーだけではない。例えば、コーナーを数センチ内側レーズできる能力など、運動性能はもとより、安全性や耐久性など、すべてが深く関わってくる。これらひとつひとつを実戦で高めながら、速さに挑戦するそれは、クルマの総合性能を極限まで高めていくこと。三菱が、29年間とぎれずにラリーに挑戦している意味は、ここにある。そして、市販車開発エンジニアが、ワークスチームの一員として参加している三菱だからこそ、市販車へのフィードバックも的確だといえる。ラリーから、トータルバランスの美しさを学ぶことは多い。

270PSを、自在に操る。そこには、想像をはるかに超えた運動性能が息づいている。

POWER UNIT

2000DOHC16バルブ・インタークーラーターボエンジン エボリューションⅢのパワーユニットは、比類ないパワーを発揮する2000DOHC16バルブ・インタークーラーターボエンジン。軽量化を図り、運動系のフリクションロスを大幅に低減した基本構造に加えて、三菱独自の圧力検出型カルマン渦式エアフローセンサーをはじめ、電子制御燃料噴射システム(ECIマルチ)、電子点火制御システムなど、多岐にわたる最先端テクノロジーを投入。さらに、数多くのラリー経験からフィードバックされたノウハウをいたびも注ぎ込み、きわめて高い完成度を誇る。そのパワーユニットが、エボリューションⅢでさらに進化を遂げた。排気系パイプの外径を大きくして背圧を低減。そして、圧縮比をいっそう向上するとともに、ターボチャージャーのコンプレッサーホイール形状を最適化することにより、とりわけ高回転域での出力をアップ。最高出力270PS/6250rpmという驚くべき数値を達成した。しかも、3000回転で最大トルク31.5kg・mを発生し、すぐれた加速性と扱いやすさを両立している。また、高出力化に対応して、耐久信頼性も徹底追求。熱排出性を高める大型エアアウトレットや、空冷式オイルクーラーを採用。エンジン各部の材質も入念に吟味し、過酷な使用へのすぐれた耐久性を確保している。

大容量インタークーラー ターボチャージャーによって圧縮・高熱化した空気を冷却し、過給効率をいちだんと高めるインタークーラー。その放熱量を大きく向上させるために、470mm×256mm×65mmという大容量サイズを採用。しかも、インナーフィンを細かく最適に配列して、冷却効率をいっそう高めている。また、このインタークーラーを車体先端に優先設置して空冷効果を十分に生かすとともに、外熱を吸収しにくいシルバー色としている。

クロスレシオ・ミッション 第1・2速のギア比をローギアード化するとともに、第2・3・4速のギア比を、エンジン出力特性に合わせて最適なクロスレシオに設定。エンジンパワーを全域で自在に引き出せ、一步速い俊敏な加速・減速を可能にしている。加えて、第2・3・4速にダブルコンシンクロを採用。操作力を大幅に軽減し、クイックなシフト操作を実現する。一方、耐摩耗性にすぐれたクラッチディスク、高剛性のクラッチカバーを採用して、信頼性をも確保。また、シフトノブは手になじみのよい本草巻きとした。

空力ボディ エボリューションⅢの大きな進化のひとつ、それは、年を追うごとに高速化しているラリーステージに対応して、空力性能をひときり強化したことだ。フロントバンパー形状そのものを見直し、バンパーエクステンションも大型化して、ダウンフォースを高めた。しかも、インタークーラーやオイルクーラーの冷却性を向上するとともに、プレーキ冷却エアダクトやトランスファ冷却スリットを新たに設置した。また、大型サイドエアダムにより、床下への空気侵入を防止して揚力を抑制。さらに、リヤスポイラーとウィッカーも最適形状を目指して大型化。リヤ揚力を抑え、後輪の接地性、操縦安定性を高めている。

軽量高剛性ボディ 軽量で高い剛性を誇るランサーのセダンボディを、さらに補強。アルミ製ボンネットフードの採用などで、さらなる軽量化を図りながら、ねじり剛性を約20%向上している。ホイールベースとトレッドは、高速直進性と機動性のウェルバランスを目指したジャストサイズ。オーバーハングの少ないボディは、軽快な運動性能に貢献している。

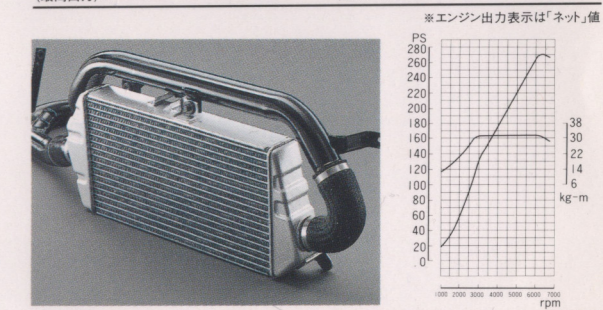
サスペンション フロントにマクファーソンストラット式独立懸架を採用。鍛造製ロアアームの採用をはじめ細部まで強化を施し、ハイパワーに対応した高い剛性を確保。そのうえで、ストラット減衰力やバネ定数を最適化し、高度な操縦性を実現している。またリヤには、強化されたマルチリンク式独立懸架を採用。車体の前後・左右に配置した数本のアームの相互作用により、理想的なタイヤの動きを実現する。しかも各アームのブッシュのうち6ヶ所にピロボールを採用し、ステア剛性を向上。タイヤの接地性を高めるとともに、すぐれた旋回性能や操縦応答性を発揮。ドライバーの狙いどおりのコーナリングを実現する。

VCU&センターデフ方式フルタイム4WD センターデフとVCU(ビスカスカップリング)を組み合わせた高性能フルタイム4WD機構を採用。路面状態の変化に瞬時に対応して、前後輪への駆動トルク配分を最適に制御。すぐれた走行安定性を実現する。また、急旋回時などで片輪が浮き上がる場合でも、ホイールの空転を防ぎ、駆動力を確実に路面に伝える機械式リミテッドスリップデフを採用。減速側の作動制限を弱めた1.5WAY式として、コーナリング時の回頭性を高めるとともに、4ABSともベストマッチしている。

4輪ディスクブレーキ フロントに2ポットキャリパー・15インチベンチレーテッドディスク、リヤに14インチディスクというブレーキシステムにより、速く確かな制動力を発揮。また、GSRでは4ABS(4輪アンチロックブレーキシステム)も搭載。ウェットな路面でも安心の制動性能を確保している。タイヤは、205/60R15を装着。そしてGSRには、スポーツマインドあふれるイタリアOZ社デザインアルミホイールも採用した。

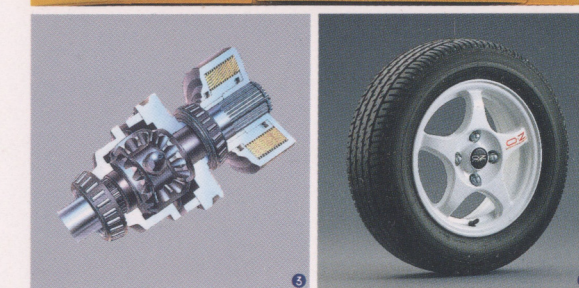


2000 DOHC 16VALVE INTERCOOLER TURBO
MAX. POWER (最高出力)※ **270PS/6250rpm** MAX. TORQUE (最大トルク) **31.5kg・m/3000rpm**



●大容量インタークーラー ●4G63ターボ型エンジン性能曲線

AERO FORM & SUSPENSION



①フロントバンパー&バンパーエクステンション ②リヤスポイラー&ウィッカー(バリアントストップラップ付) ③VCU(ビスカスカップリング)&センターデフ ④205/60R15 91Hタイヤ&OZ社デザインアルミホイール(GSR Evolution III)



■PHOTO:GSR Evolution III



■PHOTO:GSR Evolution III

高度な安全性と快適性。そこに、スポーツセダンとして秀でた、もうひとつの資質がある。

SAFETY & COMFORT

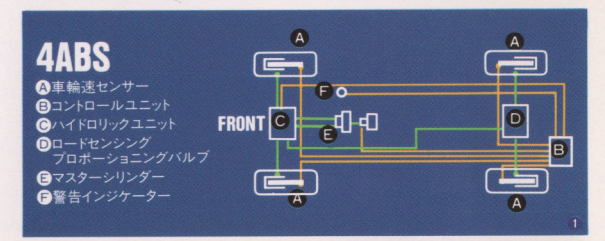
アクティブセーフティ 走りきわめよとするエボリューションだからこそ、安全性にもひときわ高いレベルが要求される。ドライバーがコントロールしにくい状況を、クルマ側が極力カバーするアクティブセーフティ。ベース車であるランサー本来のもつ取りまわしのよさと視界のよさを、数多くのラリーから得た経験からさらに磨きをかけるとともに、フルタイム4WD、4ABS、4輪ディスクブレーキなど、高水準のセーフティテクノロジーを導入。アクシデントを未然に防ぐ能力を高めている。また、後継車からの被視認性を高めるLEDハイマウントストップランプやリヤフォグランプ(GSR)など、数々の装備も採用している。

4ABS GSRには、4ABS(4輪アンチロックブレーキシステム)を採用。同一サイド・前後輪セレクトローの2チャンネル制御により、旋回中やウェットな路面でのブレーキング時でも、ホイールロックを防止して、安定した車体姿勢を確保するよう機能する。

パッシブセーフティ 万一の場合のダメージを最小限にいとめるパッシブセーフティ。衝撃吸収性にすぐれたボディ構造と頑強なキャビン構造で、前後からの衝突に対応。加えて、サイドエアビームにより、横方向からの衝撃にも対処している。また3点式ELR付シートベルトを前・後(左右)に装着。万一の横転時にも、ロールオーバーバルブや室内の難燃化材料・不燃素材など、二次火災の防止をめざした装備もきまかく配慮している。

GSRならではの快適装備 GSRエボリューション IIIは、長距離ドライブを快適にこなせるグランツーリスモの資質も兼ね備えている。フルオートエアコンは、設定された室温に応じて、風量や風向きをも自動制御して、快適な室内空間を維持する。AM/FM電子同調ラジオ付フルジックカセットステレオ&6スピーカーシステムは、AMステレオ放送にも対応。良好な受信状態を保つFMダイバーシティアンテナも採用している。

レカロ社製シート&モモ社製ステアリングホイール GSRのコックピットには、ひときわホールド性の高いフルバケットタイプのレカロ社製シートを採用。しかも、サイド部には、独自の滑りの少ない人工皮革ソアベールを施し、身体をしっかりとホールドする。また、イタリアのモモ社による本革巻ステアリングホイールは小径・太グリップで、クイックな操作性を実現。GSRには新しく「SPEED3」タイプを、RSには「コブラII」を採用した。



①4ABS (GSR Evolution III) ②サイドエアビーム ③フルオートエアコン (GSR Evolution III) ④AM/FM電子同調ラジオ付フルジックカセット&6スピーカー (GSR Evolution III) ⑤モモ社製本革巻ステアリングホイール (SPEED3) (GSR Evolution III) ⑥レカロ社製フルバケットタイプシート (GSR Evolution III)

GSR Evolution III

- VCU&センターデフ方式フルタイム4WD
- 2000DOHC16バルブ・インタークーラーターボ
- クロスレシオ5速マニュアル
- パワーウェイトレシオ:4.67kg/PS



■BODY COLOR: モナコレッド

BODY COLOR



RS Evolution III

- (注文生産車)
- VCU&センターデフ方式フルタイム4WD
 - 2000DOHC16バルブ・インタークーラーターボ
 - クロスレシオ5速マニュアル
 - パワーウェイトレシオ:4.41kg/PS



■BODY COLOR: スコティアホワイト ●RSエボリューション IIIのボディカラーは、スコティアホワイト(インテリア基調色:ブラック)のみとなります。



*RSエボリューション IIIは、あくまで競技用ベース車両として生産しているため、遮音材などを大幅に削減。車内騒音・振動などは一般車に比べて劣りますので、あらかじめご了承ください。

EQUIPMENT

類別	● 標準装備 ▲ メーカーオプション	
	GSR Evolution III	RS Evolution III
■エクステリア		
大型エアアウトレット付専用アルミフード	●	●
グリル一体型専用カラーバンパー	●	●
大型フロントバンパーエクステンション(カラー)	●	●
大型サイドエアダム&リヤサイドエアダム	●	●
カラーサイドプロテクトモール	●	●
カラードハンドル	●	●
大型リヤスポイラー	●	●
リヤウィッカー(LED/ハイマウントストップランプ付)	●	●
ハロゲンヘッドランプ	●	●
リヤフォグラブ	●	●
フロント開けっすワイパー&ウォッシャー(ミスト付)	●可変式	●
フロントワイパーフィン(運転席側)	●	●
リヤ開けっすワイパー&ウォッシャー	●	▲*4
電動格納式リモコンアミラー(カラー)	●	●
ドアサッシュブラックアウト *1	●	●
デュアルマフラーカッター	●	●
■シート仕様		
レカロ製フルバケットシート(ソアベール+ファブリックシート生地)	●	●
ハイバックシート(ビニールシート生地)	●	●
一体型リヤシートビロー	●	●
リヤシートセンターアームレスト	●	●
■インテリア		
モモ社製本革巻ステアリングホイール	●SPEED3	●コブラII
本革巻シフトノブ	●	●
メーター&空調コントロール透過照明	●	●
タコメーター	●	●
燃料残量警告灯	●	●
キーシリンダーイミネーション	●	●
AM/FM電子同調ラジオ付フルロジックカセットステレオ	●6スピーカー	●
FMダイバーシティ(モーターアンテナ+リヤガラスアンテナ)	●	●
オーディオファイティングキット(4スピーカー用) *2	●	●
デジタル時計	●	●
フルオートエアコン(新冷媒)	●	●
リヤヒーターダクト	●	●
ダイヤル式ヒーターコントロールパネル	●	●
■インテリア		
成型ドアトリム(ソアベール生地貼り)	●	●
トランクルームトリム	●	●
フロントドアポケット(両側)	●	●
サングラスポケット	●	●
カップホルダー	●	●
フロアコンソール	●大型	●
トランクルームランプ	●	●
シガライター(リング照明付)	●	●
防眩式ルームミラー	●	●
助手席バニティミラー	●	●
フットレスト	●	●
■機能装備		
大容量インタークーラー	●	●
4ABS(4輪アンチロックブレーキシステム)	●	●
パワーステアリング	●	●
チルトステアリング	●	●
ワンタッチ式パワーウインド	●	●
センタードアロック	●	●
キーレスエントリーシステム(電波式)	●	●
フロントVCU式リミテッドスリップデフ	▲	▲
リヤ1.5WAY機械式リミテッドスリップデフ	●	●
205/60R15 91Hタイヤ	●	●
OZ社デザイン15インチアルミホイール	●	▲
フューエルリッドオープナー&トランクリッドオープナー	●	●
寒冷地仕様 *3	▲	▲
電動チルト&スライド式サンルーフ	▲	▲
シビエ製白色フォグラブ	▲	▲*4
エアダムレス *5	▲	▲
フッ素樹脂塗装 *6	▲	▲

*1: ビレネーブラックのボディカラー車は除く。*2: オーディオ装置のための、アンテナ、ハーネス、ブラケットのキットです。
*3: 寒冷地仕様の詳細は、営業マンにお問い合わせください。*4: リヤ開けっすワイパーとフォグラブのセットオプションとなります。*5: 大型フロントバンパーエクステンション、大型サイドエアダム、リヤサイドエアダムをレスするオプションです。*6: スコーティアホワイト、モナコレッド、ダンデライオンイエローのボディカラー車は除く。
●複数のオプションの組み合わせはできない場合があります。詳しくは、営業マンにお問い合わせください。

SPECIFICATIONS

車名・型式		三菱・E-CE9A	
類別		SNGF	SNDF
		FULLTIME 4WD	
		GSR Evolution III	RS Evolution III
		2000DOHC 16VALVE ECI-MULTI INTERCOOLER TURBO	
		5M/T	
■寸法・重量			
全長 (mm)		4310	
全幅 (mm)		1695	
全高 (mm)		1420	
ホイールベース (mm)		2510	
トレッド (mm)	前	1465	
	後	1470	
室内長 (mm)		1805	
室内幅 (mm)		1415	1400
室内高 (mm)		1160 *1	
最低地上高 (mm)		175	
車両重量 (kg)		1260	1190
乗車定員 (名)		5	
車両総重量 (kg)		1535	1465
■性能			
最小回転半径 (m)		5.5	
10・15モード燃料消費率 (運輸省審査値)*2 (km/ℓ)		10.2 *3	
60km/h時燃料消費率 (運輸省届出値) (km/ℓ)		17.4	
■エンジン			
型式		4G63ターボ	
弁機構・気筒数		DOHC16V・直列4気筒	
内径×行程 (mm)		85.0×88.0	
総排気量 (cc)		1997	
圧縮比		9.0	
最高出力*4「ネット」(PS/rpm)		270/6250	
最大トルク (kg・m/rpm)		31.5/3000	
燃料供給装置		ECIマルチ(電子制御燃料噴射)	
燃料・タンク容量 (ℓ)		無鉛プレミアム*50	
■動力伝達装置			
変速機形式		前進5段マニュアル	
変速比	第1速	2.750	
	第2速	1.684	
	第3速	1.160	
	第4速	0.862	
	第5速	0.617	
	後退	3.166	
最終減速比		5.358	
■走行装置			
ステアリング形式		ラック&ピニオン(パワーステアリング)	
サスペンション形式	前	マクファーソン・ストラット	
	後	マルチリンク式	
主ブレーキ形式	前	ベンチレーテッドディスク(15インチ・2ポット)	
	後	ディスク(14インチ)	
タイヤ		205/60R15 91H	

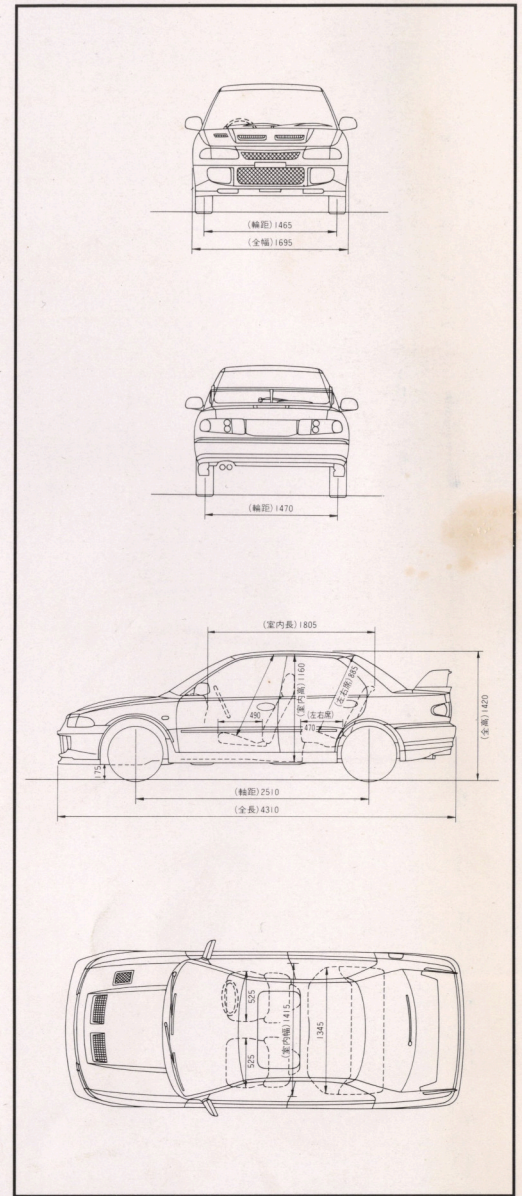
●仕様変更は、発表なく実施することがあります。なお、本仕様は、運輸省届出数値です。
●ボディカラー、内装、シート色は、印刷インキの性質上、実際の色と異なって見えることがあります。*1: GSRエボリューションIIIにサンルーフを装着した場合、室内高は1120mmとなります。*2: モード走行時における燃料消費率の表示は、順次「10モード」から「10・15モード」に切り替わります。「10・15モード」は都市内高速走行等が加味されているため、同じ車両で測定した場合、「10モード」より平均的には7%程度高い値(自工会調べ)となります。なお、これらの燃料消費率は定められた試験条件のもので値です。*3: 装備類のオプション装着により、車両重量が1265kgを超えた場合、10・15モード燃料消費率は、9.7km/ℓとなります。*4: エンジン出力表示は、ネット値とグロス値があります。「ネット」とは、エンジン車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものであり、「グロス」とは、エンジン単体で測定したものです。同じエンジンで測定した場合、「ネット」はグロスよりも、約10%程度低い値(自工会調べ)となります。

全車標準安全関連装備

- サイドアビーム●フロント合わせガラス●熱線プリントリヤガラス●ハイマウントストップランプ(LED式)●フロント3点式ELR付シートベルト
- リヤ3点式ELR付シートベルト×2●中央2点式シートベルト●シートベルトバックル組み込み式シート●アジャスタブルシートベルトアンカー(前席)
- 難燃性シート&内装素材●シートベルト非装着ウォーニング●キー抜き忘れ防止ブザー●チャイルドブルーフ
- 2重アクセルリターンスプリング●ロールオーバーバルブ●樹脂製ねじ込み式フューエルキャップ

DIMENSION

■外観四面図(GSR Evolution III) 単位:mm



三菱自動車から
「スリー・サム・サポート」サービス
営業マン・サービスアドバイザー・営業マネージャーの
3人編成のチームで
3つのベストクオリティ・サービスをお約束します。

シートベルトをしめて、スピードをひかえめに。
安全運転は三菱の願いです。

三菱自動車工業株式会社
お客様相談室

このカタログに関するお問い合わせは、お近くのキャンパ
または右記のお客様相談室へ
※札幌・仙台・名古屋・大阪・岡山・福岡の電話は、
弊社の負担にて東京へ転送いたします。

- 東京 TEL.(03)3456-1122
- 札幌 TEL.(011)666-8899
- 仙台 TEL.(022)254-2488
- 名古屋 TEL.(052)611-9075
- 大阪 TEL.(06)361-0261
- 岡山 TEL.(086)446-6493
- 福岡 TEL.(092)934-3355

あなたと創る **Creating Together** **三菱自動車**